

管理者の イエローカード事象発生！！

その後の対応は レッドカードか！？

あわや直前横断 助役なら許されるのか？

6月25日の現車訓練終了後、大阪第一車両所からの回送列車便乗までの構内通路で、訓練担当のH営業助役が、着発線から庫に向かって進路の打合せが完了し、地上信号機が進行を現示している車両の目の前の通路を、「もう渡ろうか」と信じられない言動をし、その言動を聞いた一緒にいた車掌から「そうはならない、(進行)信号が出てる、ダメだろう(渡ったら)」とH営業助役が制止させられた事象が発生しました。

その直後に汽笛吹鳴があり、車両は運転を開始しました。

日常的に乗務員に注意・喚起している助役だからこそ許されないことだ！！

このあわや直前横断という事態・言動について、H営業助役を制止させた当該の車掌は、後日、H営業助役本人に対して「管理者として、あるまじき言動を行ったことについて、営業科長へ報告したのか」と問いただしました。すると、あろうことかH営業助役は「『もう渡ろうか』とは、言ったが直前横断はしていない。何も問題ないので(営業科長に)報告していない」と答えました。

今回のH営業助役の「もう渡ろうか」の言動は、会社流に表現すれば「直前横断未遂」＝イエローカード事象です。また、その言動に対して、直前横断を制止してもらった当該車掌に感謝の意を告げるどころか、管理者として誤った判断をしたことを反省すらせず、「何も問題はない」で済ますこと自体、レッドカードと言わざるを得ません！！

H営業助役は、真摯な反省と再発防止を訴えます！